

地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	北海道	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	地域の文化遺産次世代継承事業	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 31 年度	～	平成 35 年度 5年以内としてください。
5 実施計画の概要			
<p>道教委は、北海道教育推進計画（平成30年3月決定）を踏まえ、地域の文化遺産を保存・継承し、活用していく体制の確立を目指し、文化遺産を活用して地域活性化を推進するため、次の取組みを行う。</p> <p>(1) 北海道という地域性を考慮したヘリテージマネージメント人材育成のための制度設計及び認定試験の実施とマネジメント資格者のネットワークの構築</p> <p>(2) 歴史的地域資産の保存活用の検討と推進のための普及啓発事業の実施</p> <p>※北海道教育推進計画はURL(http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksk/kyouikusuishinkeikaku30.htm)を参照。</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等は以下の担当課が行う。</p> <p>・北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課：本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等</p> <p>また、補助事業は次の団体が実施する。</p> <p>・北海道文化遺産活用活性化実行委員会（会長 角 幸博） 構成団体：北海道文化財保護協会、(社)北海道建築士会、NPO法人 歴史的地域資産研究機構</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 30,125 千円	平成31年度申請額： 7,753 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史、文化の特性や価値を総合的に理解できるパンフレット作成やフォーラムの開催等の情報発信により、地域の文化財への興味・関心が向上し、次世代への確実な継承とともに地域の活性化が期待できる。 ・評価価値を保存活用方針や方策や直接関わる人材の裾野を広げることが可能となり、さらに有資格者のネットワーク構築により、広域である北海道の地域資産の保存活用や次世代への継承に、官民一体となる力を発揮することができる。 ・一連の取組により、道民の文化遺産や歴史的地域資産に対する関心や意識の高まりが期待できるとともに、歴史的地域資産の保存・継承が進む。 ・官民連携による保存活用の取組体制を構築することができる。 ・文化時の普及啓発の実践者を拡大する体制を構築することができる。 			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	北海道・ロシア地域間文化遺産交流事業（H31総務省委託）：北海道と共通性の高い古代集落遺跡が分布するサハリン州から専門家や高校生を招聘、地域の特色ある文化財の価値を広い視野で把握しこれを生かした国際交流を行う。		
事業概要：			
事業概要：			
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
「（仮称）北海道文化財保存活用大綱」を平成31年末までに策定予定（自主財源）			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産を活用した取組数（本事業の取組を除く）（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 1 :	北海道の特徴ある文化遺産を総合的に評価し情報発信・普及啓発する自治体事業の数			関連事業:	①、③	
目標値 1 :	【現状値】 平成 30 年度 0 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 35 年度 10 (単位)					
設定根拠 1 :	個別の文化遺産でなく北海道の地域の特徴を示す文化遺産の価値を遺産群として総合的にとらえ、普及する自治体の取組の数を年 2 件ずつ増加させる。					
進捗状況 1 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産を活用した取組数（本事業の取組を除く）（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 2 :	ヘリテージ専門職育成講座の修了者を活用した文化遺産の普及啓発事業数			関連事業:	②	
目標値 2 :	【現状値】 平成 30 年度 2 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 35 年度 30 (単位)					
設定根拠 2 :	ヘリテージ専門職育成講座修了者の20%が普及啓発事業を年 1 回実施すると設定					
進捗状況 2 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	

